

中田地区まちづくりアンケート結果報告書(概要版)

【謝辞・ご挨拶】

昨年末の中田地区まちづくりアンケートの実施にあたり、住民の皆様には多大なるご協力をいただき、誠にありがとうございました。おかげさまで、914件もの貴重な回答をお寄せいただくことができました。また、調査票の配布・回収にご尽力いただきました各町内会の役員・班長の皆様、及び、地区内市民センター・コミュニティセンター関係者には、この場をお借りして深く感謝申し上げます。皆様からいただいたご意見は、単なる数値データとして扱うのではなく、私たち地域の「実感」や「願い」として受け止め、今後のまちづくりの検討に活かしてまいります。本報告書が、これからの中田地区を皆様と共に考えるきっかけとなれば幸いです。

中田地区まちづくり勉強会 壁画プロジェクトチーム

1. アンケート実施概要

昨年、南仙台駅が開業100周年を迎えたことを機に、住民の皆様が日頃どのように感じ、どのようなまちを望んでいるのかを把握するため、アンケートを実施いたしました。

- 調査期間: 令和7年12月1日～22日
- 調査対象: 中田地区4連合町内会(中田地区／中田西部／東中田／中田中部)全世帯の1割に配布及び市民センター、コミセンへ設置(約2500)
- 回収数: 914件(有効回答)
- 回答者属性:
 - 年代: 60歳以上が約57%を占め、高齢層が中心のご回答になりました。
 - 地域: 西中田・東中田・中田を中心に、東部・西部・中央部からバランスよく回答が集まりました。

2. 南仙台駅100周年事業と地域活動への関心

100周年事業の評価は「肯定的」

南仙台駅が開業100周年であったことを「知っていた」方は約6割でした。取組に対する印象は、「とても良い」「だいたい良い」を合わせると約74%にのぼり、地域の節目を祝う機運は概ね好意的に受け止められました。一方で、実際にイベントに参加された方は約1割にとどまりました。

地域活動への参加意欲

「中田地区まちづくり勉強会」などの地域活動について、約45%の方が「今回のアンケートで初めて知った」と回答されており、活動の周知が課題であることがわかりました。

今後の関わり方については、「イベントに参加者としてなら参加したい」という方が約37%おり、準備・運営や勉強会に興味がある層を含めると、過半数(約57%)の方が何らかの形で地域に関わる意欲をお持ちであることが確認できました。

3. 南仙台駅の将来像(高架化か、橋上駅化か)

南仙台駅周辺の整備について、線路を持ち上げて踏切をなくす「高架化」と、駅舎を2階にして自由通路を作る「橋上駅化」のどちらを望むか伺いました。

- 高架化に賛成: **42.6%**
- 橋上駅化に賛成: **24.6%**
- 分からない／判断保留: 合計約35%

現時点では、踏切渋滞の解消など抜本的な解決につながる「高架化」を支持する声が多い結果となりました。ただし、市がJRへ調査委託していること自体を「今回初めて知った」方が半数近く(46.3%)いらっしゃるため、引き続き丁寧な情報共有が必要です。

4. 住民が重視する「地域固有課題」の優先度

市議会などで議論されてきた地域固有の課題の中から、特に重要だと思うものを伺いました。全体では「踏切」と「渋滞」への関心が突出しています。

全体での優先課題(上位項目)

1. 踏切の安全確保・長時間遮断／分断の解消(44.3%)
2. 駅周辺・旧4号線などの交通渋滞解消(36.2%)
3. 南仙台駅西口の利便性向上(自由通路等)(27.4%)
4. 名取川の水害対策・内水排水対策(26.7%)

【重要】居住地域による「願い」の違い

地域別に分析すると、お住まいの場所によって切実な課題が異なることが浮き彫りになりました。

| 居住エリア | 最も重視されている課題 | 特徴 |
|----------------|-------------|--|
| 西側(西中田・柳生) | 西口の利便性向上 | 西中田では58%が選択。踏切問題よりも、駅へのアクセス改善を強く求めています。 |
| 東側(東中田・袋原・四郎丸) | 新橋梁建設・渋滞解消 | 四郎丸・袋原では、名取川への新橋梁建設による渋滞緩和がトップ課題でした。 |
| 中央(中田地区) | 踏切の長時間遮断解消 | 線路による地域分断の影響を直接受けるため、踏切問題への関心が突出して高い結果でした。 |

5. 自由記述からうかがえる日常生活の声

選択肢以外の自由なご意見(128件)では、交通インフラへの要望に加え、日々の暮らしに直結する課題が多く寄せられました。

- 交通・駅利便性:「西口改札を早く作ってほしい」「渋滞で緊急車両が通れるか心配」といった声が全体の半数以上を占めました。
- 生活環境の課題: 今回の選択肢には含めませんでした。 「空き家の増加」「ごみ処理」「高齢者福祉」「子育て支援」など、身近な生活課題への対策を求める切実な声も多数確認されました。

まとめと今後について

今回のアンケートを通じて、「踏切・渋滞解消」という共通の願いがありつつも、お住まいの地域によって「西口開設」や「橋梁建設」など優先順位が異なる実態が明らかになりました。また、ハード面の整備だけでなく、空き家や福祉といったソフト面の課題解決も求められています。

勉強会では、この結果を行政や関係機関へ届けるとともに、住民の皆様が「参加してみたい」と思えるようなまちづくり活動を企画・検討してまいります。ご協力ありがとうございました。

アンケート結果のくわしい報告書は、「中田地区まちづくり勉強会」のホームページ(nakaben.org)でご覧いただけます。スマートフォンの方は、右側の「QRコード」にカメラを向けると開けます。

